

各 位

会 社 名 株式会社北紡
 代表者名 代表取締役社長 粕谷 俊昭
 (コード：3409 東証スタンダード)
 問合せ先 専務取締役 篠原 顕二郎
 (TEL. 076-277-7530)

(開示事項の経過) SBI VC トレードの SBIVC for Prime を活用した ビットコインの取得方針変更に関するお知らせ

当社は、2025 年 7 月 22 日付「ビットコイン購入開始に関するお知らせ」にて公表したとおり、2025 年 7 月よりビットコインの購入を開始しております。また、同開示において、取得したビットコインの有効活用としてレンディングを含む運用手法を検討する旨を記載しておりました。

その後の暗号資産市場を取り巻く環境や価格変動の状況等を踏まえ、当社はビットコインの取得方法及び取得体制について見直しを行う必要があると判断いたしました。この結果、ビットコインの取得方針の一部見直しを行うとともに、当該方針を実行するための取得・保管体制として、SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の連結子会社であり、暗号資産交換業を営む SBI VC トレード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：近藤 智彦、以下「SBI VC トレード」といいます。）が提供する「SBIVC for Prime」を活用することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施の背景

当社はこれまで、暗号資産を含むデジタルアセット領域の成長性に着目し、中長期的な企業価値向上に資する新たな収益機会の創出を継続的に検討してまいりました。その一環として、ビットコインの取得を開始し、適切なリスク管理体制のもとで資産効率を高める取り組みを推進しております。

一方、近時の暗号資産市場においては、価格変動が大きく、短期間で相場環境が変化する状況が継続しております。このような市場環境のもと、従来の取得方法のみでは、市場変動に対する柔軟な対応が難しい場面が生じ得ると判断いたしました。また、暗号資産の取得及び保管に係る安全性や管理体制の重要性を踏まえ、今後の取得規模の拡大や執行の確実性を見据えた場合には、大口取引に対応した取得及び管理体制を整備することが、リスク管理及び資産効率の観点から適切であるとの結論に至りました。

2. 取り組みの概要

(1) ビットコインの取得方針の変更について

従来、当社は、毎営業日一定額を継続的に購入するドルコスト平均法を基本とした取得方法により、ビットコインの取得を行ってまいりました。今後は、当該取得方法を見直し、市場環境、価格水準、取得金額等を総合的に勘案しながら、取得タイミング及び一回あたりの取得金額を判断する「随時取得」を基本とした取得方針とすることといたしました。本取得方針は、短期的な価格変動を前提としつつも、取得総額や取得ペースについて一定の制約を設けることで、リスクを管理しながら、中長期的な視点での収益機会の獲得を図ることを目的としております。

（２）取得・保管体制の見直しについて

上記取得方針の変更を実行するための取得・保管体制として、SBI VCトレードが、大口顧客向けに提供する特別サービスである「SBIVC for Prime」を活用することといたしました。同サービスを通じて、安定的な執行環境のもとでビットコインの取得を行うとともに、取得後の保管・管理体制の強化を図ってまいります。

３．リスク管理の基本方針

当社は、暗号資産価格の変動リスクを十分に認識したうえで、以下の方針に基づきリスク管理を行ってまいります。

- ・ビットコインの取得は、当社の資金運用の一環として位置付け、取得総額及び取得ペースについて一定の上限を設けること
- ・短期的な価格変動による影響を前提としつつも、中長期的な視点での保有を基本方針とすること
- ・当社の財務基盤や資金繰りに重大な影響を及ぼさない範囲での運用とすること

４．今後の見通し

ビットコインの継続的な取得は、当社の資金運用の一環として、財務基盤の安定性の向上に資する可能性があるものと考えております。なお、暗号資産価格の変動等により影響が生じる可能性がありますが、当社ではリスク管理を徹底しつつ、今後もデジタルアセット活用による新たな収益機会を積極的に模索してまいります。2026年3月期の業績予想につきましては、本件の影響は織り込んでおりません。今後、当社業績に著しい影響が生じた場合には、適時かつ適切に開示してまいります。

以 上

